



神奈川県

かながわ I C T ・ データ 利活用推進計画

令和元年度点検報告書

令和2年7月

神奈川県

目 次

1	計画の概要	1
(1)	かながわ I C T ・データ利活用推進計画について	1
(2)	計画の構成	1
(3)	点検報告書作成の趣旨	1
2	令和元年度の取組	2
(1)	全体	2
(2)	柱Ⅰ「くらしの情報化」の主な取組	2
(3)	柱Ⅱ「行政の情報化」の主な取組	3
3	今後の取組	4
別紙	施策別成果指標達成状況一覧(令和元年度)	5

1 計画の概要

(1) かながわ I C T ・ データ利活用推進計画について

- 県では、今後、本格的な人口減少や少子高齢化が進行し、こうした社会環境の変化に伴い、県民ニーズはますます多様化するものと見込まれ、これに対応したきめ細かなサービスの提供が求められる一方で、税財源や人的資源の縮小が懸念されています。
- こうした中で、限られた予算・人材を有効に活用し、ニーズに応じた質の高い県民サービスを提供するためには、検証可能な施策立案を進めるとともに、これまで以上に県の業務の効率化を図ることが必要であることから、令和元年7月に「かながわ I C T ・ データ利活用推進計画」(以下「計画」という。)を策定し、I C T 及びビッグデータを含む多様なデータの利活用に積極的に取り組むこととしました。
- 計画は、官民データ活用推進基本法に基づく都道府県官民データ活用推進計画とするとともに、かながわグランドデザイン及び行政改革大綱を I C T 及びデータ利活用の側面から支える計画として位置付けていることから、令和元年度から4年度までの4年間を期間とし、基本方針や取組を示しています。

(2) 計画の構成

- 計画は、基本方針に県民の安全安心や利便性の向上を図ることを目的とした「くらしの情報化」と、行政内部の業務全般の効率化を図ることを目的とした「行政の情報化」の2つを柱に掲げ、柱ごとに分野と具体的な施策を位置付けています。

柱	中柱
I くらしの情報化	① I C T 及びデータを利活用した県民サービスの提供 ②官民情報共有・整備の推進 ③県民サービスの更なる電子化の推進
II 行政の情報化	①行政事務の更なる電子化の推進 ②クラウド適用の原則化 ③ I C T ガバナンスの強化 ④情報化人材の確保

(3) 点検報告書作成の趣旨

- 計画に位置付けている各施策については、その達成度合いを把握、管理するために指標を設定しています。
- 設定した指標に基づき、毎年度継続して各取組の結果を評価し、その後の取組の改善につなげていくことによって、計画を着実に推進していくため、点検報告書を作成します。

2 令和元年度の取組

(1) 全体

○計画に位置付けている 21 分野 76 施策のうち、令和元年度に成果指標の設定がされている 20 分野 71 施策中、58 施策（81.6%）で成果指標を達成しています。

○柱Ⅰ「くらしの情報化」では 48 施策中 39 施策（81.2%）、柱Ⅱ「行政の情報化」では、23 施策中 19 施策（82.6%）で成果指標を達成しています。

柱	中柱	施策数	成果指標		
			上回った	達成	未達成
くらしの情報化	①ICT及びデータを利活用した県民サービスの提供	27(30)	4	17	6
	②官民情報共有・整備の推進	9	2	5	2
	③県民サービスの更なる電子化の推進	12	1	10	1
	小計	48(51)	7	32	9
行政の情報化	①行政事務の更なる電子化の推進	10	0	9	1
	②クラウド適用の原則化	4	0	2	2
	③ICTガバナンスの強化	8(9)	0	7	1
	④情報化人材の確保	1(2)	0	1	0
	小計	23(25)	0	19	4
合計		71(76)	7	51	13

※1 () 内は計画に位置付けている全施策数

※2 内訳は別紙「施策別成果指標達成状況一覧（令和元年度）」のとおり

(2) 柱Ⅰ「くらしの情報化」の主な取組

① ICT及びデータを利活用した県民サービスの提供

ア 健康・医療・介護

「マイME-BYOカルテ」の維持・運営を実施しました。

イ 観光

国内観光客向けウェブサイト「観光かながわNOW」をリニューアルするとともに、外国語観光情報ウェブサイト「Tokyo Day Trip -Kanagawa Travel Info-」による多言語での情報発信を実施しました。

ウ 農林水産・環境

スマートフォン等を活用した県民参加型の生きもの調査を実施しました。

エ ものづくり

企業経営の未病改善の一環として、中小企業への簡易型IoT技術の導入のための専門家派遣を実施しました。

オ インフラ・防災・減災等

かながわ消防の初動対応力の強化に向けた仕組み（Kアラート）を構築し、運用を開始しました。

カ 教育

県立高校等への学習者用コンピュータ（タブレット型端末）の整備を開始し、11,726台を導入しました。

② 官民情報共有・整備の推進

ア オープンデータの推進

オープンデータ未取組市町村への支援を行い、取組市町村数が33市町村中29団体になりました。

イ SNS等を活用した情報発信等の推進

SNS（LINE）を活用した企業庁の情報発信の仕組みを構築しました。

③ 県民サービスの更なる電子化の推進

ア 行政手続きの電子化

次期電子申請システム及び施設予約システムの構築を完了しました。

イ キャッシュレスの取組

県内事業者等に対し、キャッシュレス決済導入に向けた説明会や相談会を開催するとともに、公金収納のキャッシュレス化の試行を2か所で実施しました。

ウ マイナンバーの利活用

マイナンバー制度における情報連携（照会）を2事務に導入しました。

エ デジタルデバイド対策

県有施設の公衆無線LANアクセスポイントの設置申込を募集するとともに、設置済みの機器について適切に運用・管理を実施しました。

(3) 柱Ⅱ「行政の情報化」の主な取組

① 行政事務の更なる電子化の推進

ア 新たなICTによる業務の効率化

RPAシステムを導入し、5業務についてシナリオの作成を完了しました。

イ 働き方改革を支えるICT環境の整備

モバイルPCを3,938台導入しました。（累計10,267台）

ウ データ利活用を支える環境の整備

データ連携基盤の導入に向けた先行事例調査等を実施しました。

② クラウド適用の原則化

ア 次期コンピュータセンター等の導入

神奈川県プライベートクラウド（KPC）の構築が完了しました。

イ 庁内情報システムの全体最適化

庁内情報システム全体最適化の方針検討のための調査を実施しました。

③ ICTガバナンスの強化

ア 新たな体制の推進に向けた制度整備

新たなICT推進体制（CDOの設置等）に対応し、所要の規定類を整備・改正しました。

イ 各情報システムの最適化

税務システムの再構築に向けた開発作業を行いました。（～令和3年度）

④ 情報化人材の確保

ア ICT及びデータの利活用に資する人材育成

ICT分野全体における現行主催研修の見直しや新研修体系に着手しました。

イ 情報化人材の人員配置

ICT分野職務経験者採用の見直しの検討を行いました。

3 今後の取組

- 計画の推進に当たっては、国の動向やICTの情勢など、県を取り巻く環境に留意しながら、ICT部門が施策に取り組んでいる所管課に助言や情報提供、支援を行い、計画の着実な推進に取り組めます。

【別紙】施策別成果指標達成状況一覧（令和元年度）

※「評価」欄：◎目標を上回った ○達成 △未達成 ー指標未設定

柱	中柱	分野	番号	施策名	所属	成果指標	令和元年度		未達成の理由及び今後の見込み等
							目標	評価	
柱Ⅰ 暮らしの情報化									
① ICT及びデータを活用した県民サービスの提供									
ア 健康・医療・介護									
			1	ICTを活用した未病改善の推進	ヘルスケア・ニューフロンティア推進本部室	システムの維持・運営	実施	○	
			2	未病指標の構築・活用	ヘルスケア・ニューフロンティア推進本部室	未病指標利用者数(累計)	—	—	
			3	介護保険事業に係る地域分析	高齢福祉課	市町村職員研修会の実施回数	20回	○	
			4	保健医療データの活用	健康増進課	市町村事業の評価支援件数	2件	◎	
イ 観光									
			1	ウェブサイトを活用した神奈川の観光情報の発信	(1)観光企画課 (2)国際観光課	(1)宿泊施設紹介ページPV数 (2)月平均PV数	(1)100,000PV (2)75,000PV	△	(1)「観光かながわNOW」の改修に当たり、利便性をより向上させるための検討・調整をしっかりと行った結果、想定よりも利用開始時期が遅れたことや、新型コロナウイルス感染症の拡大により、観光需要が減少したため、成果指標(1)が未達となった。今後、企画記事の充実や、多方面でのウェブサイトのPRなどにより、閲覧数の増加を目指す。 (2)月平均PV数は成果指標を達成した。
			2	満足度の高い観光ツアーをプランニングしやすい環境整備の促進	国際観光課	ガイド実施件数	60件	△	マッチングシステムの利用者数の伸び悩みにより、ガイド実施件数も想定に満たなかった。マッチングシステムの利用者数が増加すれば、ガイド実施件数も増加するものと見込まれる。
			3	観光統計データの活用	観光企画課	データ収集、分析、共有	実施	○	
ウ 農林水産・環境									
			1	GPS発信器を活用したニホンザル群れ管理	自然環境保全課	GPS発信器の運用が可能な群れの割合	80%	△	群れの除去完了時期が近く、発信器の装着を見合わせた群れがいたため、装着率としては成果指標を下回ったが、施策目標達成の観点からは、順調に推移している。
			2	ICTを活用した県民参加の生きもの調査(かながわ生きもの調査)	自然環境保全課	県民の生物多様性認知度	55%	◎	
			3	AIによる鳥獣出没把握の省力化・効率化	自然環境保全課	AI識別による識別時間短縮	50%削減	◎	
			4	ICTを活用した温室内制御技術の開発及び経営モデルの構築	農政課	環境制御技術の確立	—	—	
			5	農業用ドローン等の活用に向けた技術開発	農政課	ドローン等を活用した技術の開発	—	—	
			6	定置網安全対策調査	水産技術センター相模湾試験場	被害がわかるような撮影方法の確立	定置網全体の撮影手順のマニュアル化	○	
			7	藻場回復・保全技術高度化検討調査	水産技術センター相模湾試験場	藻場判別技術の開発	分析手法の検討	○	
エ ものづくり									
			1	IoT技術の導入支援	産業振興課	IoT技術導入支援件数	6件	○	
			2	簡易型IoT技術の導入支援	中小企業支援課	専門家派遣の実施	実施	○	
			3	「企業経営の未病改善」ウェブアプリの開発及びデータベースの構築	中小企業支援課	企業経営の未病に気づき支援機関に相談する企業数	10,000社	△	令和2年2月末に777件を公開したため、従来の「企業経営の未病CHECKシート」を紙に記入しFAX等で提出する方法が主体となったことから、成果指標が未達となった。今後は様々な広報媒体で周知し、支援機関の窓口でも活用を促すため、成果指標を概ね達成する見込みである。
オ インフラ・防災・減災等									
			1	「SDGsつながりポイント」の仕組み構築	SDGs推進課	ポイント付与者数(累計)	1,000人	○	
			2	防災行政通信網の再整備	総務危機管理室	防災行政通信網の再整備	基本調査設計の実施	○	
			3	かながわ消防の初動対応力強化(Kアラート)	消防保安課	運用開始	構築完了	○	
			4	AI活用型犯罪・交通事故発生予測システムの整備	生活安全総務課	システムの整備	計画策定	○	

【別紙】施策別成果指標達成状況一覧（令和元年度）

※「評価」欄：◎目標を上回った ○達成 △未達成 ー指標未設定

柱	中柱	分野	番号	施策名	所属	成果指標	令和元年度		未達成の理由及び今後の見込み等
							目標	評価	
		カ	教育						
		1	学習者用コンピュータの整備	高校教育課	タブレット型端末整備台数	11,726台	○		
		2	校内無線LAN等の整備	高校教育課	インフラ整備済み校数	144校	○		
		3	プログラミング教育・支援教育の整備	高校教育課	成果発表会等の開催回数	3回	○		
		4	神奈川県図書館情報ネットワーク（KLINEET）の再構築	県立図書館	システム最適化による利用者の利便性向上	計画策定	◎		
		5	生涯学習情報システムPLANETかながわの再構築	県立図書館	県民が利用しやすいシステムの構築	構想策定	△	内容の見直しが必要となり、再構築構想の策定ができなかった。今後は令和2年度に構想、令和3年度に計画、令和4年度に調達・開発開始というスケジュールで取り組む。	
		6	川崎図書館における公衆無線LANのセキュリティ確保	川崎図書館	図書館の公衆無線LANからの掲示板への悪意のある書き込み件数	0件	○		
		7	国宝 金沢文庫文書データベースのインターネット公開用システムの構築・公開	金沢文庫	アクセス数	12,000アクセス	△	単独サーバでの構築を予定していたが、よりセキュリティ対策が強いKSCでの構築に変更したため、予算確保や構築作業に時間を要しインターネット公開が遅れたことにより、成果指標の達成に至らなかった。	
		8	歴史博物館 収蔵資料情報のWeb公開	歴史博物館	収蔵資料情報のWeb公開	改修開始	○		
		9	生命の星・地球博物館 収蔵管理システム（データベース）の一般公開	生命の星・地球博物館	収蔵管理システムの公開	改修開始	○		
		②官民情報共有・整備の推進							
		ア オープンデータの推進							
		1	県におけるオープンデータ推進	ICTデータ戦略課	公開テーマ（データセット）数	50データセット	◎		
		2	市町村との連携によるオープンデータ推進	ICTデータ戦略課	県内の「オープンデータ取組市町村」数	20市町村	◎		
		3	都市計画基礎調査情報のオープンデータ化の推進	都市計画課	オープンデータ化	国が「ドローン」等との整合確認	○		
		4	犯罪発生情報のオープンデータ化の推進	生活安全総務課	ウェブサイトの構築	構築完了	○		
		イ SNS等を活用した情報発信等の推進							
		1	SNSを活用した神奈川の観光情報の発信	国際観光課	(1)Facebookフォロワー数 (2)Weiboフォロワー数	(1)65,000 (2)45,000	△	Facebookフォロワー数は成果指標を達成したが、Weiboフォロワー数が想定をわずかに下回ったため、令和2年度以降は「フォロー強化」を図り、成果指標の達成を目指す。	
		2	若年者の自殺対策	がん・疾病対策課	ホームページ・スマートフォンアプリアクセス数	42,800アクセス	△	一定数のアクセスがあるものの、目標を下回った。新規ユーザー獲得のためにも、今後は効果的な周知（周知カードの作成・配布、広報誌への掲載）を行う予定である。	
		3	SNSを活用した企業庁の情報発信	企業局総務室	情報発信の仕組みの構築	構築完了	○		
		4	SNSを活用したいじめ相談体制の構築	学校支援課	効果測定及び課題検証	実施	○		
		5	生命の星・地球博物館のスマートフォン向けWebサイトの開発・運用	生命の星・地球博物館	スマートフォン向けWebサイトの公開	計画策定	○		
		③県民サービスの更なる電子化の推進							
		ア 行政手続の電子化							
		1	行政手続のオンライン利用の促進	ICTデータ戦略課	オンライン化促進に向けた方針検討	調査実施	○		
		2	次期電子申請システム及び施設予約システムへの更新	情報システム課	次期システムの導入	構築完了	○		
		3	自動車二税の電子申告等に関する取組	税務指導課	充実・拡充に向けた取組	対象地域の拡大	○		
		4	法人二税の電子申告等に関する取組	税務指導課	利用率向上に繋がる取組	機能改善	○		
		5	インターネットによる県営水道管路情報図の提供	水道施設課	インターネットでの情報提供	実施	○		

【別紙】施策別成果指標達成状況一覧（令和元年度）

※「評価」欄：◎目標を上回った ○達成 △未達成 ー指標未設定

柱	中柱	分野	番号	施策名	所属	成果指標	令和元年度		未達成の理由及び今後の見込み等
							目標	評価	
				イ キャッシュレスの取組					
			1	キャッシュレス化の推進	広域連携課各局	公金収納のキャッシュレス化	先行事業実施	○	
			2	県税における電子収納等の利用拡大	税務指導課	納期内納付率（件数）	+1%	△	令和元年度内における全税目の納期内納付率の集計作業を令和2年6月中旬から開始するので、達成できたか判明するのは7月になる。参考として、自動車税の令和元年度定期課税分に係る納期内納付率を見ると、前年と同値であった。今後はLINE Pay以外での支払決済の拡大に取り組む予定である。
			3	県営水道におけるキャッシュレス納付の拡大	情報管理課	財務管理システムの改修の実施	改修完了	○	
				ウ マイナンバーの利活用					
			1	マイナンバー及びマイナンバーカードの円滑な運用及び利用の拡大	ICT・データ戦略課	情報連携（照会）を導入する事務	1事務	◎	
				エ デジタルデバйд対策					
			1	県有施設への公衆無線LANアクセスポイントの設置	ICT・データ戦略課	円滑な運用の実施	実施	○	
			2	Webアクセシビリティの確保	情報システム課	一括検証における「非常に良い」、「良い」の割合	96%	○	
			3	障害者ITサポートシステムの運営	障害福祉課	障害者ITサポートセンター設置	1か所	○	
柱Ⅱ 行政の情報化									
①行政事務の更なる電子化の推進									
				ア 新たなICTによる業務の効率化					
			1	RPAの本格導入の実現	ICT・データ戦略課	RPAの導入	開発完了	○	
			2	RPA導入に係るガバナンスの基準策定	ICT・データ戦略課	新たな基準の整備	基準施行	○	
			3	AI活用サービスの導入検討	情報システム課 ICT・データ戦略課	実証の実施数	2回	○	
			4	水道スマートメーターの実用化に向けた検討調査	経営課	試行・研究の実施	実施	○	
				イ 働き方改革を支えるICT環境の整備					
			1	モバイルPCの導入	情報システム課	(1)導入予定台数 (2)導入累計台数	(1)3,938台 (2)10,267台	○	
			2	コミュニケーションアプリの利活用	情報システム課	システム稼働率（計画停止以外）	100%	○	
			3	新たなグループウェアの検討	情報システム課	新たなシステムの導入	計画策定	△	「国のクラウド利用に関する決定等」に合わせて検討する必要があるが、国の方針提示が遅れたためスケジュール進捗が遅れ、その結果として成果指標の達成に至らなかった。
			4	庁内無線LANの整備・運用	情報システム課	無線LAN整備拠点数（予定）	85拠点	○	
				ウ データ利活用を支える環境の整備					
			1	ビッグデータなど多様なデータを集約し活用するデータ連携基盤の導入	ICT・データ戦略課	データ連携基盤の導入	調査実施	○	
			2	データ連携基盤によるデータ利活用の仕組みの整備	ICT・データ戦略課	データ利活用方針の策定	調査実施	○	

【別紙】施策別成果指標達成状況一覧（令和元年度）

※「評価」欄：◎目標を上回った ○達成 △未達成 —指標未設定

柱	中柱	分野	番号	施策名	所属	成果指標	令和元年度		未達成の理由及び今後の見込み等
							目標	評価	
②クラウド適用の原則化									
ア 次期コンピュータセンター等の導入									
			1	神奈川県プライベートクラウド（KPC）の導入	情報システム課	構築完了	構築完了	○	
			2	ハウジングシステムのホスティングへの移行	情報システム課	調整の実施	実施	○	
			3	次期セキュリティクラウドへの更新検討	情報システム課	次期セキュリティクラウドの導入	計画策定	△	国の方針提示が遅れたためスケジュール進捗が遅れ、その結果として成果指標の達成に至らなかった。当面は、現行のセキュリティクラウドを継続利用する方向で検討し、国から方針が提示され次第、次期セキュリティクラウドについて検討を開始する。
イ 庁内情報システムの全体最適化									
			1	庁内情報システムの全体最適化の推進	ICT・データ戦略課	最適化の実現	方針決定	△	最適化方針の検討、調査をさらに継続する必要があるため、成果指標の達成に至らなかった。令和2年度も継続して検討、調査を進め令和2年度中に方針の決定を行う。
③ICTガバナンスの強化									
ア 新たな体制の推進に向けた制度整備									
			1	新たな体制を推進するための規定類の整備	ICT・データ戦略課	新たな規定類の整備	施行完了	○	
			2	情報システムの最適化に関連した規定類の整備	ICT・データ戦略課	新たな規定類の整備	調査実施	○	
イ 各情報システムの最適化									
			1	税務システムの再構築	税務指導課	リリース結果の確認	—	—	
			2	環境監視システムの再構築	環境科学センター	システムの正常稼働	開発完了	○	
			3	環境情報処理システムの再構築	環境科学センター	システムの正常稼働	構想策定	○	
			4	神奈川県母子父子寡婦福祉資金システムの再構築	子ども家庭課	システムの正常稼働	開発完了	○	
			5	生活保護総合情報システムの再構築	生活支援課	システムの正常稼働	計画策定	△	再構築スケジュールを見直したため、成果指標の達成に至らなかった。見直し後の再構築スケジュールに沿って事業を進めるが、成果指標についての変更はない。
			6	神奈川県リハビリテーション病院における電子カルテシステム等の開発整備	県立病院課	システムの正常稼働	開発完了	○	
			7	教育委員会ネットワークの再構築	教育局総務室	システムの正常稼働	計画策定	○	
④情報化人材の確保									
ア ICT及びデータの利活用に資する人材育成									
			1	ICT分野全体における研修体系の構築	ICT・データ戦略課	研修受講者満足度	80%	○	
イ 情報化人材の人員配置									
			1	ICT分野における人材モデルとキャリアパスの構築	ICT・データ戦略課	人事所管所属への情報提供	—	—	